

第58回 杉並区区民意向調査

区政に関する意識と実態

(要約版)

この小冊子は、令和8年5月に実施しました「第58回杉並区区民意向調査」の結果のあらましです。ご協力いただきました区民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

詳細につきましては、区政資料室、区立図書館、地域区民センターに備え付けの調査報告書をご覧ください。

令和8年10月

杉並区 総務部 区政相談課

【調査のあらまし】

- ・調査対象 満18歳以上の区民
- ・対象者 無作為抽出による3,000人
- ・調査方法 郵送配布・郵送回収またはインターネット回答
- ・回収数 1,237人
- ・回収率 41.2%
- ・調査時期 令和8年5月

【小冊子の見方】

- ・nはその設問の回答者数を表しています。
- ・回答結果は件数を基数とした百分率で算出し、小数第2位を四捨五入してあります。このため百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合は合計が100%を超える場合があります。
- ・2つ以上の選択肢を合わせた項目(計)は、それぞれの回答数を合計し、再計算しているため個別の%の合計と一致しないことがあります。

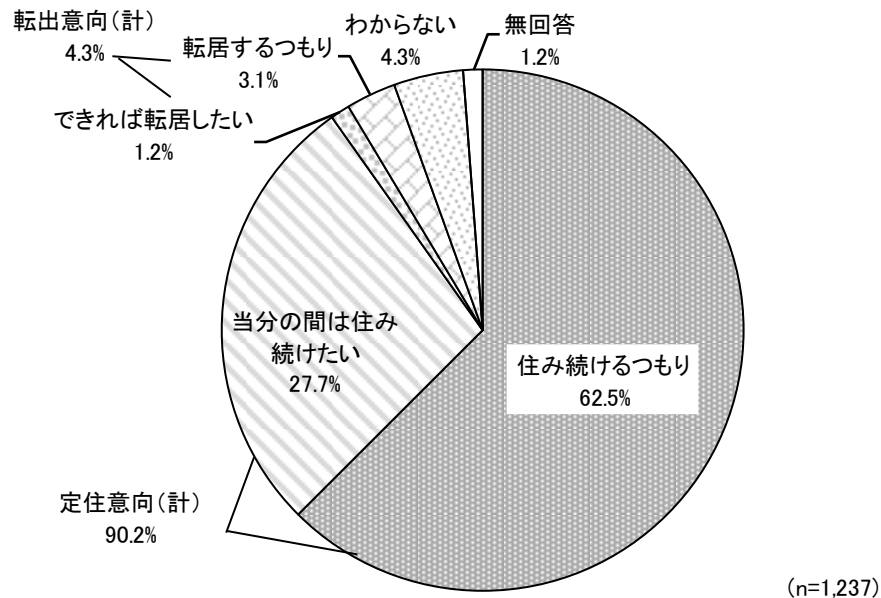
【調査項目】

- (1) 定住性と生活環境について
- (2) 地域防災について
- (3) 狭あい道路拡幅整備について
- (4) 駅周辺の満足度について
- (5) 商店街について
- (6) 農にふれあう機会について
- (7) 環境に配慮した行動について
- (8) グリーンインフラについて
- (9) 健康と医療について
- (10) 人権について
- (11) 性の多様性について
- (12) 高齢者在宅支援について
- (13) 障害差別の解消について
- (14) 地域活動について
- (15) 子どもの権利・子育て支援について
- (16) 多文化共生について
- (17) 運動・スポーツについて
- (18) 生涯学習について
- (19) 区の情報について
- (20) 区役所のデジタル化について
- (21) その他の区政について

1. 定住性と生活環境について

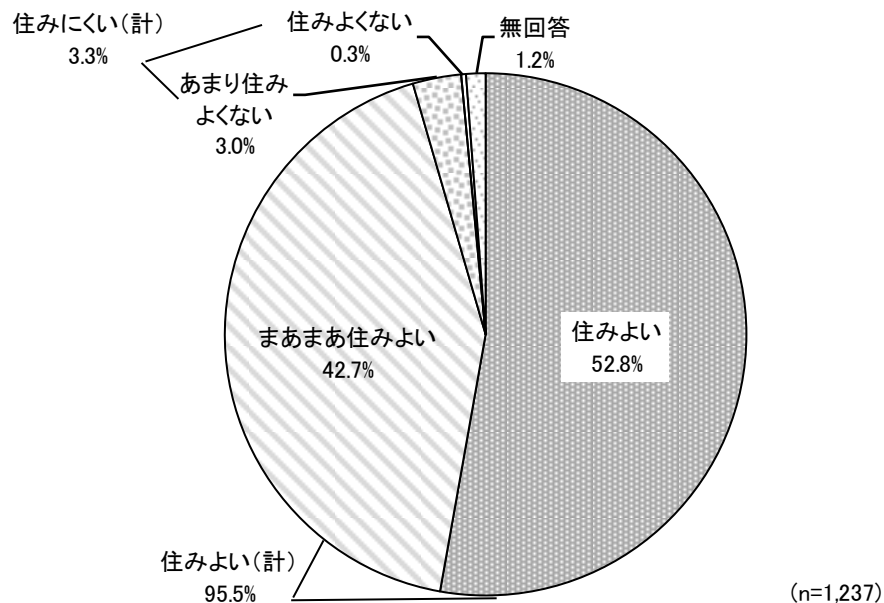
定住意向 『定住意向(計)』が9割

- ◆ 定住意向を聞いたところ、「住み続けるつもり」62.5%が最も高く、これに「当分の間は住み続けたい」27.7%を合わせた『定住意向(計)』90.2%は9割に達しています。一方、「できれば転居したい」1.2%と「転居するつもり」3.1%を合わせた『転出意向(計)』4.3%は非常に低くなっています。



住みやすさ 『住みよい(計)』が9割半ば

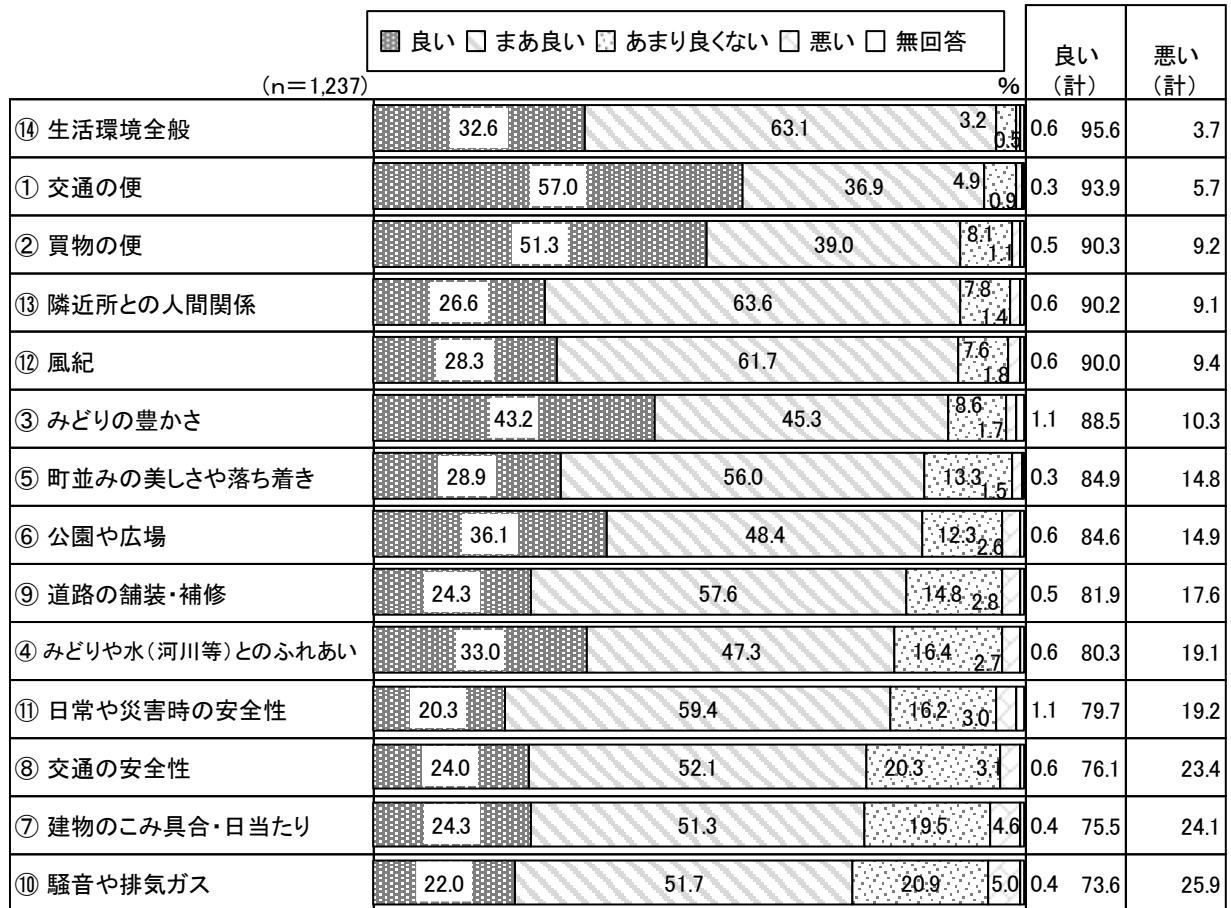
- ◆ 現在の杉並区は「住みよいまち」だと思うか聞いたところ、「住みよい」52.8%が5割を超え、これに「まあまあ住みよい」42.7%を合わせた『住みよい(計)』95.5%は9割半ばに達しています。一方、「あまり住みよくない」3.0%と「住みよくない」0.3%を合わせた『住みにくい(計)』3.3%は非常に低くなっています。



生活環境の評価

【生活環境全般】の『良い(計)』が9割半ばに達し、高評価

- ◆ 自宅周辺の生活環境について聞いたところ、「良い」と「まあ良い」を合わせた『良い(計)』では、【生活環境全般】95.6%が9割半ばに達し、最も高くなっています。次いで、【交通の便】93.9%、【買物の便】90.3%、【隣近所との人間関係】90.2%、【風紀】90.0%までが9割に達しています。一方、「あまり良くない」と「悪い」を合わせた『悪い(計)』では、【騒音や排気ガス】25.9%が最も高く、【建物のこみ具合・日当たり】24.1%、【交通の安全性】23.4%までが2割を超えています。

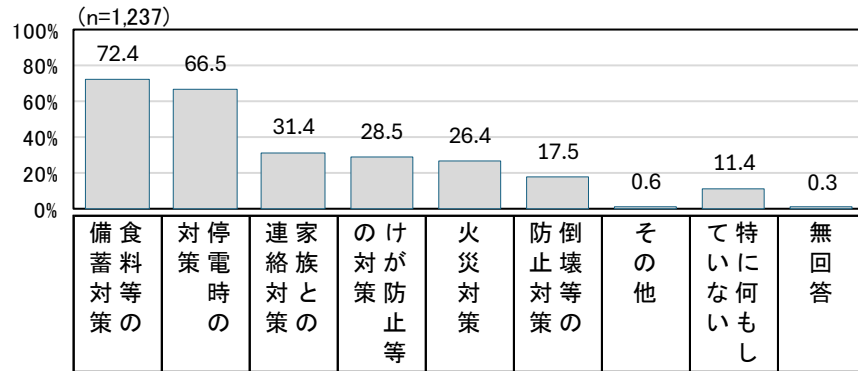


※『良い(計)』の高い順

2. 地域防災について

家庭での防災対策の実施状況 「食料等の備蓄対策」が7割を超える

- ◆ 家庭で行っている防災対策を聞いたところ、「食料等の備蓄対策」72.4%、「停電時の対策」66.5%の2項目が高くなっています。



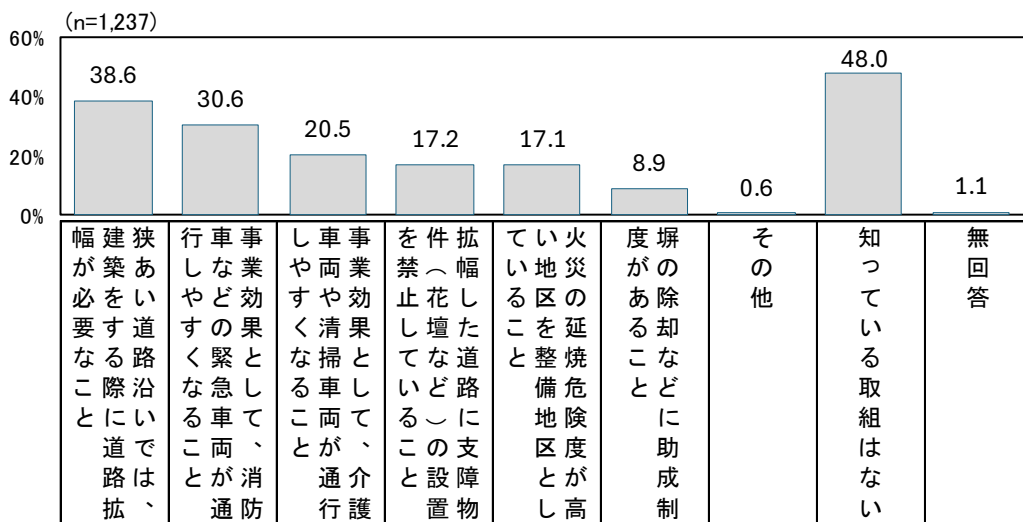
※全体の高い順

3. 狭あい道路拡幅整備について

「狭あい道路拡幅整備事業」に関する取組の認知度

「狭あい道路沿いでは、建築をする際に道路拡幅が必要なこと」が4割近く

- ◆ 狭あい道路に関する取組を知っているか聞いたところ、「狭あい道路沿いでは、建築をする際に道路拡幅が必要なこと」38.6%が最も高く、「事業効果として、消防車などの緊急車両が通行しやすくなること」30.6%、「事業効果として、介護車両や清掃車両が通行しやすくなること」20.5%、「拡幅した道路に支障物件(花壇など)の設置を禁止していること」17.2%、「火災の延焼危険度が高い地区を整備地区としていること」17.1%の順となっています。

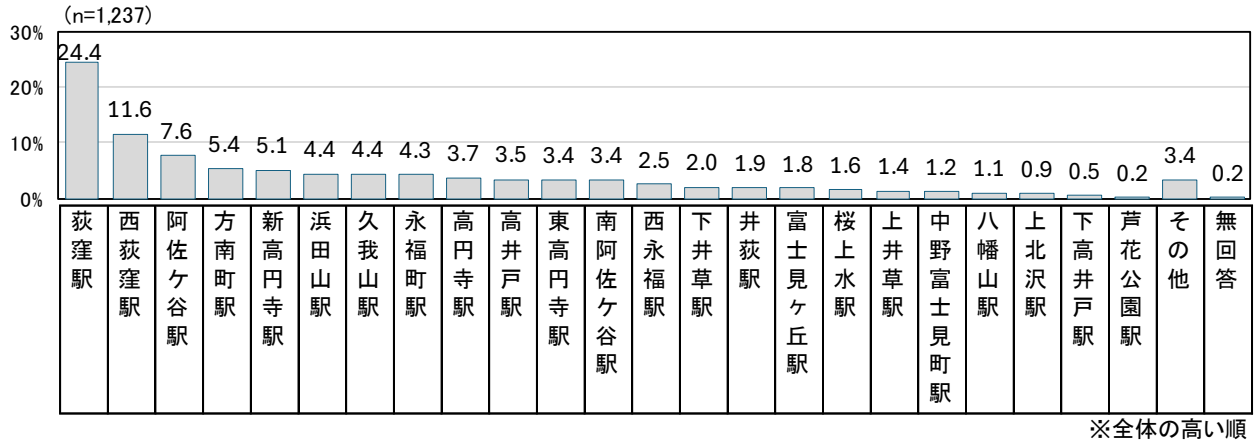


※全体の高い順

4. 駅周辺の満足度について

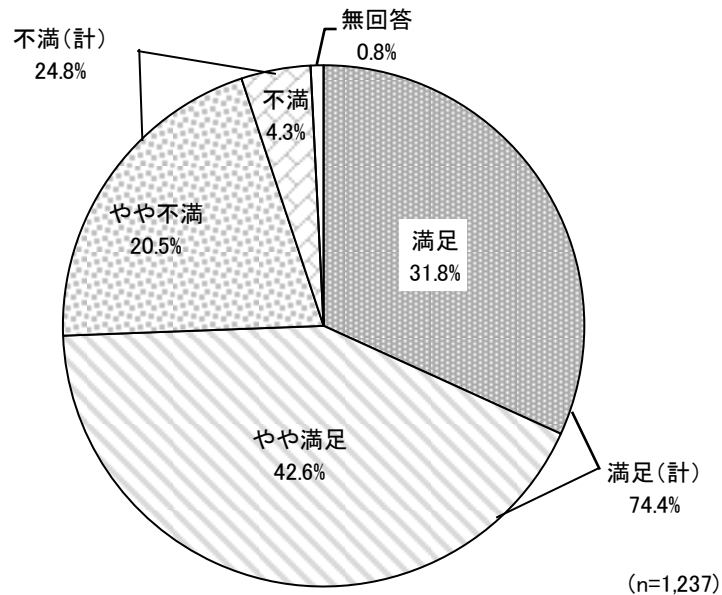
普段利用する駅 「荻窪駅」が2割を超える

- ◆ 普段利用する駅を聞いたところ、「荻窪駅」24.4%が最も高く、次いで「西荻窪駅」11.6%、「阿佐ヶ谷駅」7.6%、「方南町駅」5.4%、「新高円寺駅」5.1%となっています。



普段利用する駅周辺の満足度 『満足(計)』が7割を超える

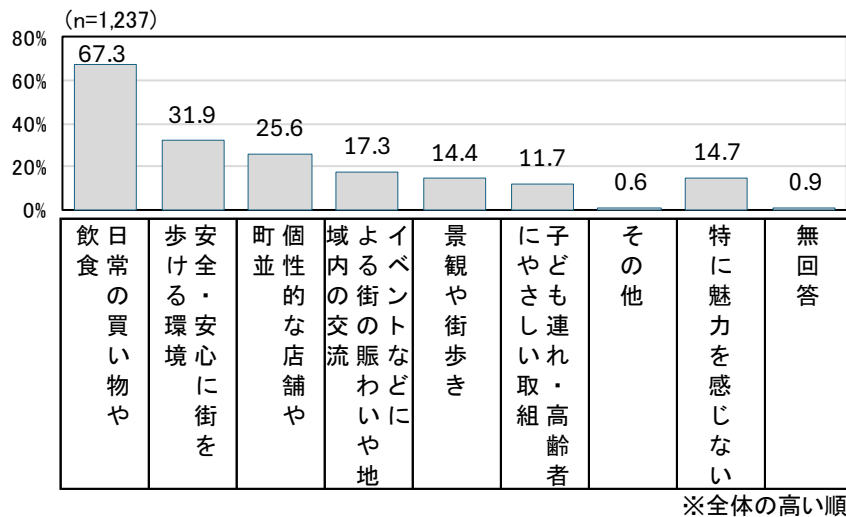
- ◆ 普段利用する駅周辺の満足度について聞いたところ、「満足」31.8%と「やや満足」42.6%を合わせた『満足(計)』74.4%は7割を超えています。一方、「やや不満」20.5%と「不満」4.3%を合わせた『不満(計)』24.8%は3割を下回っています。



5. 商店街について

商店街の魅力点 「日常の買い物や飲食」が7割近く

- ◆ 商店街の魅力点について聞いたところ、「日常の買い物や飲食」67.3%が最も高く、次いで「安全・安心に街を歩ける環境」31.9%、「個性的な店舗や町並」25.6%となっています。



商店街の施設・設備の充実度 【夜間照明】は『充実している(計)』が6割を超える

- ◆ 商店街の施設・設備について聞いたところ、【夜間照明】で「充実している」17.4%と「やや充実している」45.3%を合わせた『充実している(計)』62.7%は6割を超えています。一方、「あまり充実していない」「充実していない」を合わせた『充実していない(計)』では【アーケード】36.9%が最も高く、次いで【レンガ敷・カラー舗装など】25.4%となっています。

	(n=1,237)					%		
	充実している	やや充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答	充実している(計)	充実していない(計)
①アーケード	13.9	29.3	20.6	16.3	17.8		2.0 43.2	36.9
②防犯カメラ	5.0	16.2	10.5	3.6	62.7		2.0 21.3	14.1
③夜間照明	17.4	45.3	12.5	2.6	20.9		1.4 62.7	15.1
④レンガ敷・カラー舗装など	9.7	30.1	17.3	8.1	33.1		1.8 39.8	25.4

6. 農にふれあう機会について

農にふれあう機会の取組への参加状況

【杉並産の野菜、果物や花の購入】は「取り組んだことがある」が2割近く

- ◆ 区が提供している農にふれあう機会への参加状況を聞いたところ、【杉並産の野菜、果物や花の購入】の「取り組んだことがある」18.9%が最も高くなっています。
- 「今後取り組みたい」では、【杉並産農産物を使ったレストランでの飲食】23.1%が最も高く、以下、【杉並産の野菜、果物や花の購入】19.6%、【区民農園や体験農園等で農作物を育てる】17.5%、【収穫体験への参加】17.1%までが2割弱となっています。

(n=1,237)		■ 取り組んだことがある □ 取り組んだことがない ▨ 今後取り組みたい □ 無回答				%
①杉並産の野菜、果物や花の購入	18.9	60.8			19.6	0.7
②杉並産農産物を使ったレストランでの飲食	4.9	70.8			23.1	1.2
③収穫体験への参加	4.5	77.0			17.1	1.5
④区民農園や体験農園等で農作物を育てる	4.0	77.1			17.5	1.4
⑤農業ボランティアの参加	0.5	84.2			14.0	1.4

7. 環境に配慮した行動について

環境に配慮した行動への取組

【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】【マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる】【できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している】の『している(計)』が9割を超える

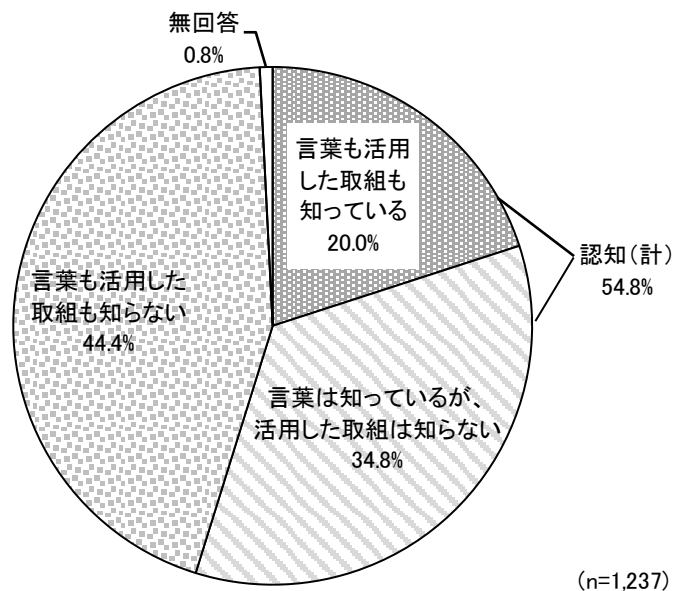
- ◆ 環境に配慮した行動への取組について聞いたところ、「いつもしている」と「おおむねしている」を合わせた『している(計)』は、【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】95.9%が最も高く、次いで【マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる】と【できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している】がともに93.9%となっています。一方、「あまりしていない」と「していない」を合わせた『していない(計)』が最も高いのは【省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買物をしている】31.3%で3割を超えています。

	■ いつもしている □ おおむねしている ■ あまりしていない □ していない □ 無回答						
	(n=1,237)					%	
						している(計)	していない(計)
①LED照明など省エネ機器を使い、不要時は家電製品の電源を切っている	28.9	56.0	11.4	3.1	0.6	85.0	14.5
②省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買物をしている	15.0	53.0	26.5	4.8	0.8	67.9	31.3
③ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる	55.6	40.3	3.0	0.6	0.6	95.9	3.6
④マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる	51.7	42.1	5.2	0.6	0.4	93.9	5.7
⑤できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している	66.0	27.8	4.9	0.9	0.4	93.9	5.7

8. グリーンインフラについて

グリーンインフラの認知度 『認知(計)』が5割半ば

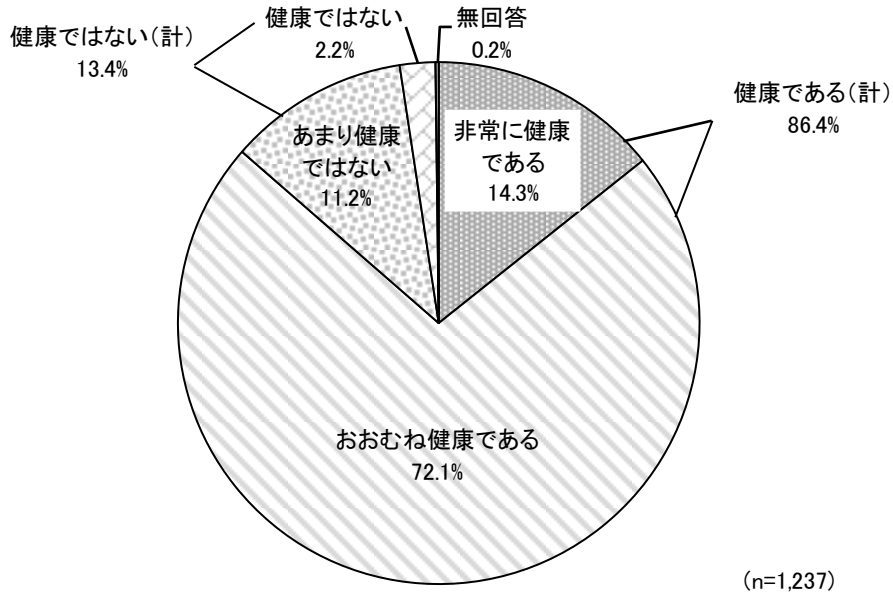
- ◆ グリーンインフラを活用した取組について知っているか聞いたところ、「言葉も活用した取組も知らない」44.4%が最も高くなっています。「言葉も活用した取組も知っている」20.0%と「言葉は知っているが、活用した取組は知らない」34.8%を合わせた『認知(計)』54.8%は5割を超えています。



9. 健康と医療について

健康状態 『健康である(計)』が8割半ばを超える

- ◆ 健康状態について聞いたところ、「おおむね健康である」72.1%が7割を超え、これに「非常に健康である」14.3%を合わせた『健康である(計)』86.4%は8割半ばを超えています。一方、「あまり健康ではない」11.2%と「健康ではない」2.2%を合わせた『健康ではない(計)』13.4%は1割強にとどまっています。



かかりつけ医療機関の有無 【かかりつけ歯科医】を『決めている(計)』は7割半ば

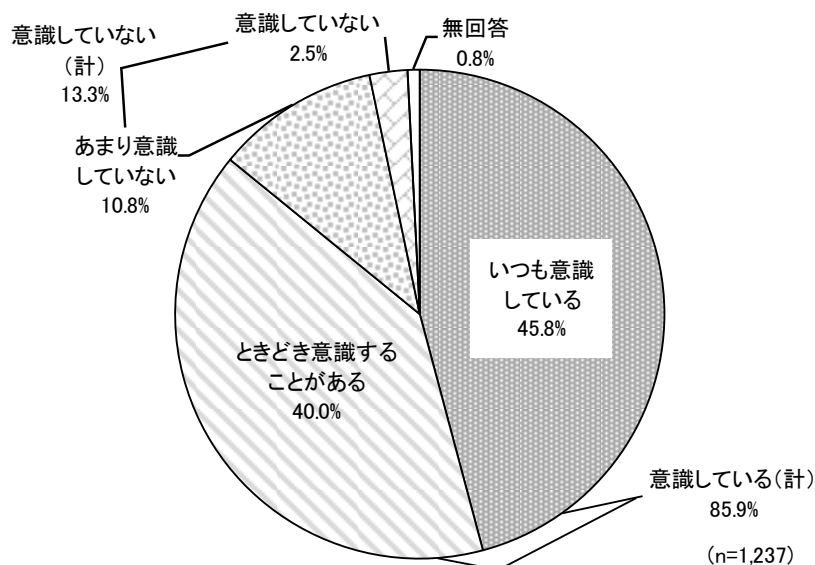
- ◆ かかりつけ医療機関を決めているか聞いたところ、【かかりつけ歯科医】で「決めており、定期的に通診(利用)している」58.2%と「決めてはいるが、最近では通診(利用)していない」17.4%を合わせた『決めている(計)』は75.6%と7割半ばに達しています。

(n=1,237)		☒ 決めており、定期的に通診(利用)している ☐ 決めてはいるが、最近では通診(利用)していない ☐ 特に決めてはいない ☐ 必要がない ☐ 無回答				%		決めて いる (計)
①かかりつけ医	47.6	18.2	32.3	1.6	0.3	65.8		
②かかりつけ歯科医	58.2	17.4	21.9	1.9	0.6	75.6		
③かかりつけ薬局	42.4	11.2	43.6	2.1	0.6	53.7		

10. 人権について

人権意識 『意識している(計)』が8割半ば

- ◆ 人権を意識しながら生活しているか聞いたところ、「いつも意識している」45.8%が4割半ばに達し、これに「ときどき意識することがある」40.0%を合わせた『意識している(計)』85.9%は8割半ばに達しています。一方、「あまり意識していない」10.8%と「意識していない」2.5%を合わせた『意識していない(計)』13.3%は1割台にとどまっています。

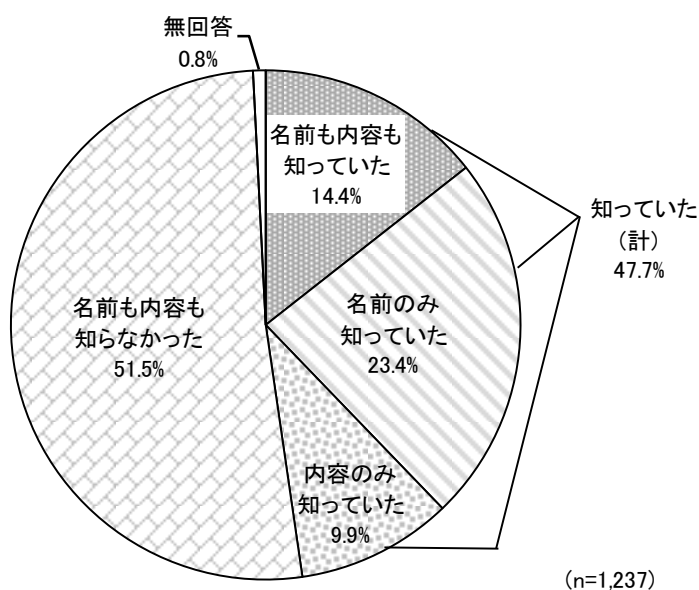


11. 性の多様性について

「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」の認知度

「名前も内容も知らなかった」が5割を超える

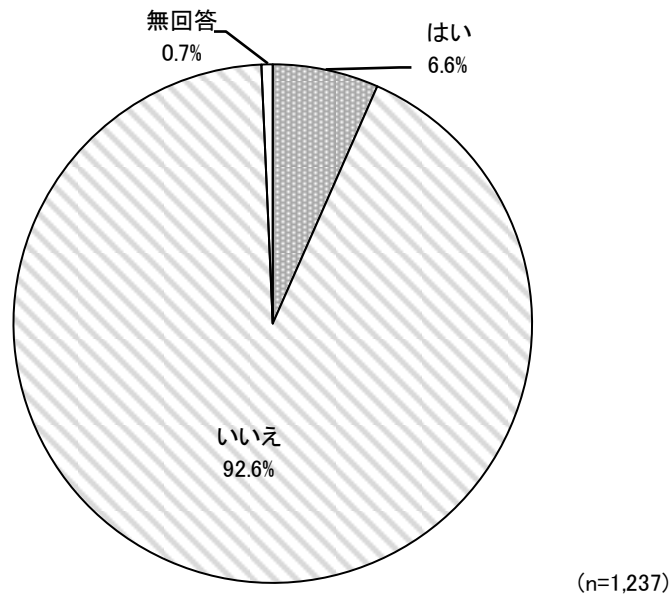
- ◆ 「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」について知っているか聞いたところ、「名前も内容も知らなかった」51.5%が5割を超えています。「名前も内容も知っていた」14.4%、「名前のみ知っていた」23.4%、「内容のみ知っていた」9.9%を合わせた『知っていた(計)』47.7%は5割を下回っています。



12. 高齢者在宅支援について

現在の介護状況 現在介護をしている人は1割未満

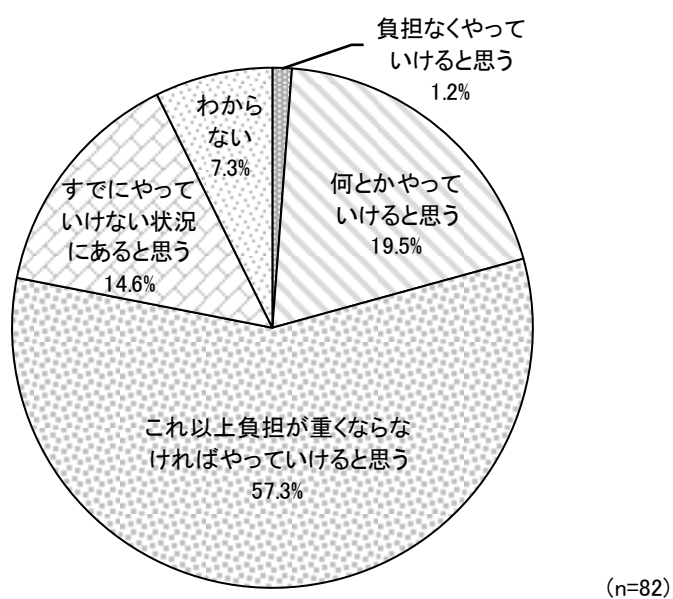
- ◆ 現在、介護をしているか聞いたところ、「はい」と答えた人は6.6%で、現在介護をしている人は1割未満にとどまっています。



今後の在宅介護の見通し

「これ以上負担が重くならないければやっていけると思う」が6割近く

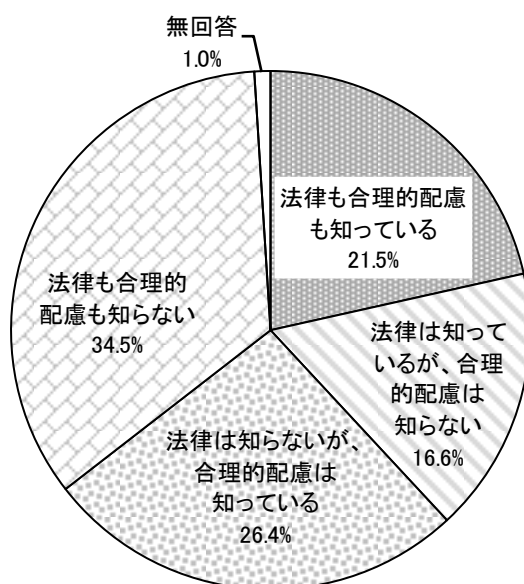
- ◆ 現在介護をしている人(82人)に、今後の在宅介護の見通しを聞いたところ、「これ以上負担が重くならないければやっていけると思う」57.3%が最も高く、次いで「何とかやっていけると思う」19.5%となっています。



13. 障害差別の解消について

「障害者差別解消法」や合理的配慮の認知度 「法律も合理的配慮も知らない」が3割半ば

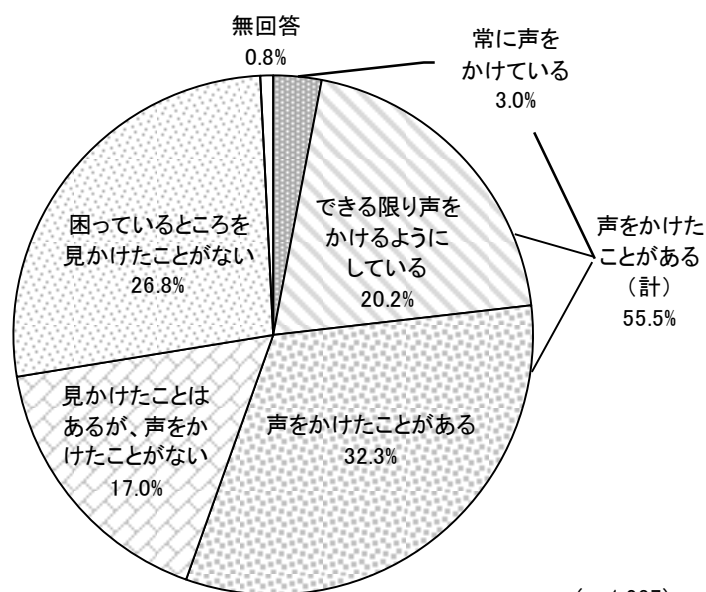
- ◆ 「障害者差別解消法」や合理的配慮について知っているか聞いたところ、「法律も合理的配慮も知らない」34.5%が最も高く、「法律は知らないが、合理的配慮は知っている」26.4%、「法律も合理的配慮も知っている」21.5%、「法律は知っているが、合理的配慮は知らない」16.6%の順となっています。



(n=1,237)

障害のある方への声かけ 『声をかけたことがある(計)』が5割半ば

- ◆ 障害のある方が困っているところを見かけた際に声をかけたことがあるか聞いたところ、「常に声をかけている」が3.0%、これに「できる限り声をかけるようにしている」20.2%と「声をかけたことがある」32.3%を合わせた『声をかけたことがある(計)』55.5%は5割半ばに達しています。一方、「見かけたことはあるが、声をかけたことがない」は17.0%、「困っているところを見かけたことがない」は26.8%となっています。

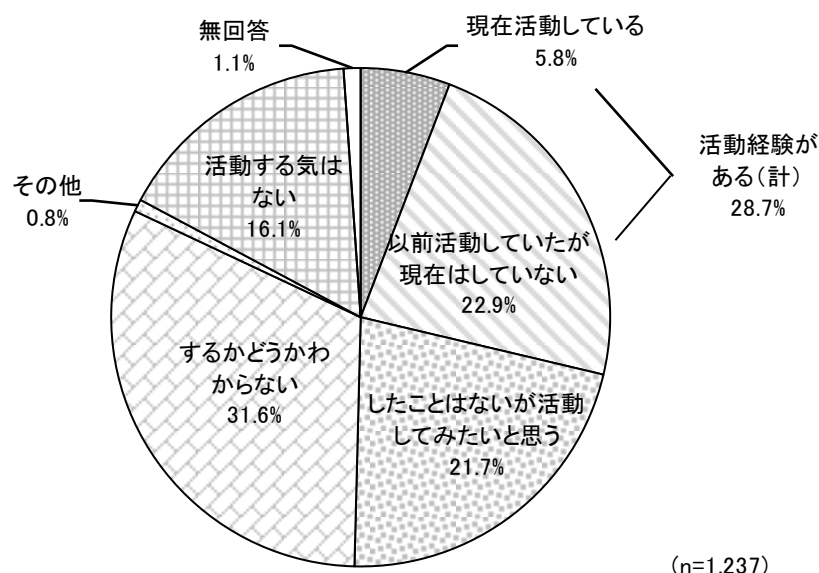


(n=1,237)

14. 地域活動について

ボランティア活動経験 『活動経験がある(計)』が3割近く

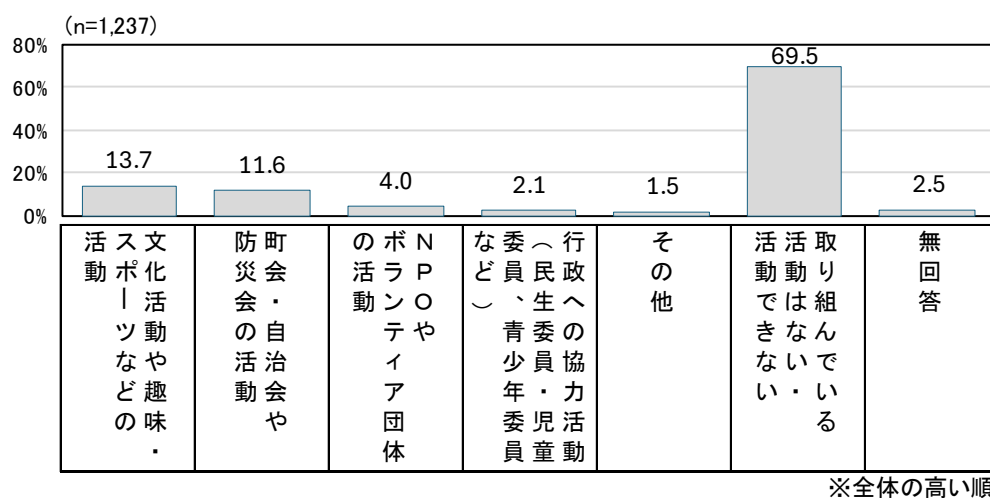
- ◆ ボランティア活動をした経験があるか聞いたところ、「するかどうかわからない」31.6%が3割強で最も高く、「現在活動している」5.8%に「以前活動していたが現在はしていない」22.9%を合わせた『活動経験がある(計)』28.7%も3割近くで同程度となっています。一方、「活動する気はない」は16.1%となっています。



地域活動・社会活動参加状況

「文化活動や趣味・スポーツなどの活動」「町会・自治会や防災会の活動」が1割を超える

- ◆ 参加している地域活動、社会活動を聞いたところ、「取り組んでいる活動はない・活動できない」69.5%はほぼ7割で、何らかの活動への参加率は3割程度となっています。具体的には「文化活動や趣味・スポーツなどの活動」13.7%、「町会・自治会や防災会の活動」11.6%が1割を超えています。



15. 子どもの権利・子育て支援について

子どもの権利の認知度 『内容を知っている(計)』は4項目とも2割台後半

◆ 子どもの権利について知っているか聞いたところ、どの項目も「内容をくわしく知っている」は1割にとどかず、これに「内容について少し知っている」を合わせた『内容を知っている(計)』も2割台後半にとどまっています。

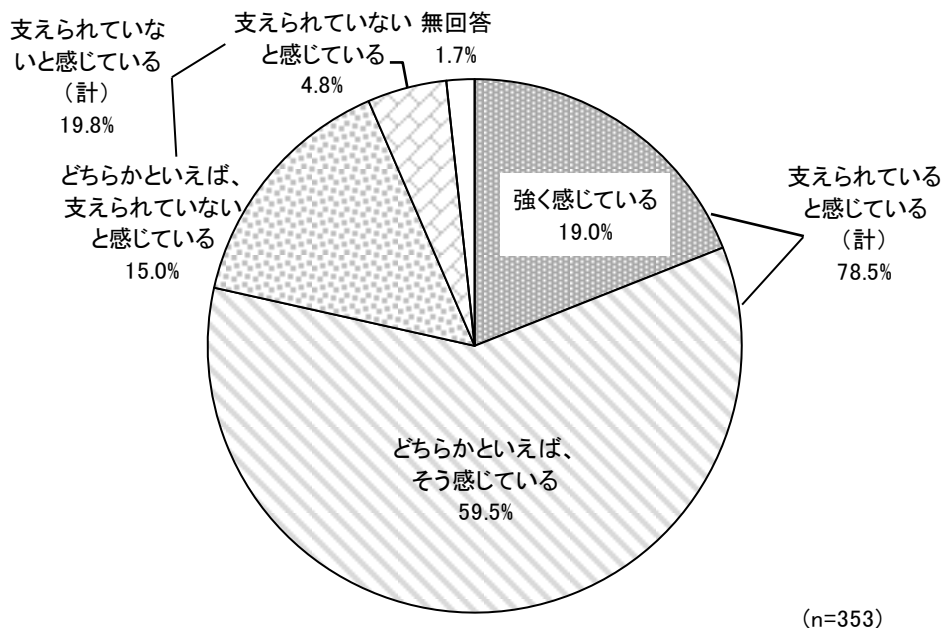
一方、「聞いたことがない・知らない」は【子どもに関することについて、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する】41.2%と【子どもは自分に関することについて、自由に意見を表すことができ、大人はそれを尊重する】38.2%で4割前後と高くなっています。

	■ 内容をくわしく知っている □ 内容について少し知っている ▨ 名前だけ聞いたことがある □ 聞いたことがない・知らない □ 無回答				内容を 知って いる (計)	
	(n=1,237)				%	
①子どもはどんな理由でも差別されない	8.3	19.3	38.5	32.6	1.3	27.6
②子どもの命が守られ、成長できる	8.8	21.1	38.6	30.0	1.5	29.9
③子どもに関することについて、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する	7.2	18.0	32.1	41.2	1.5	25.2
④子どもは自分に関することについて、自由に意見を表すことができ、大人はそれを尊重する	8.1	18.8	33.3	38.2	1.6	26.9

地域の子育て支援についての意識

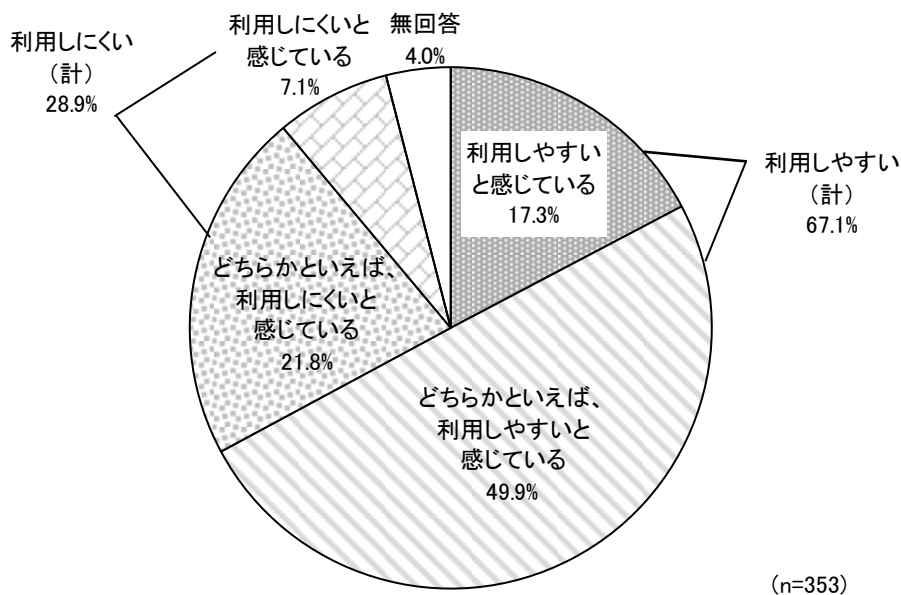
地域や社会に『支えられていると感じている(計)』が8割近く

- ◆ 18歳未満の子どもがいる人(353人)に、子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じているかを聞いたところ、「強く感じている」19.0%と「どちらかといえば、そう感じている」59.5%を合わせた『支えられていると感じている(計)』78.5%は8割近くに達しています。一方、「どちらかといえば、支えられていないと感じている」15.0%と「支えられていないと感じている」4.8%を合わせた『支えられていないと感じている(計)』19.8%はほぼ2割となっています。



地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ 『利用しやすい(計)』が7割近く

- ◆ 18歳未満の子どもがいる人(353人)に、地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいかを聞いたところ、「利用しやすいと感じている」17.3%と「どちらかといえば、利用しやすいと感じている」49.9%を合わせた『利用しやすい(計)』67.1%は7割近くとなっています。一方、「どちらかといえば、利用しにくいと感じている」21.8%と「利用しにくいと感じている」7.1%を合わせた『利用しにくい(計)』28.9%は3割弱となっています。

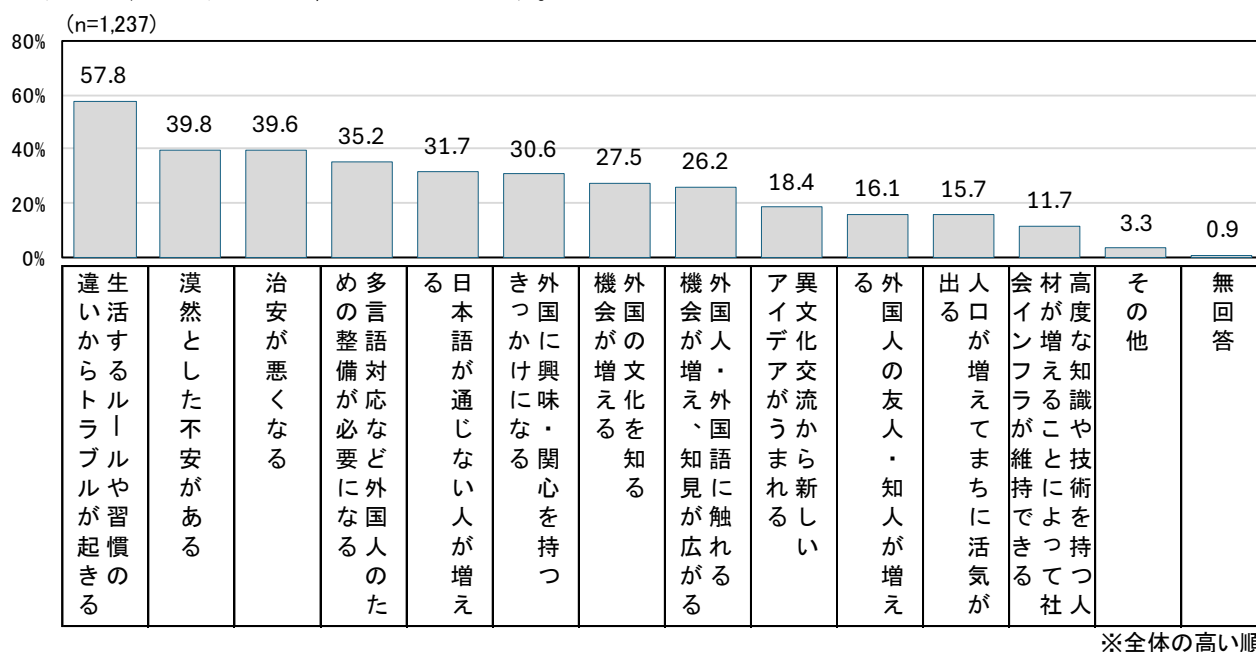


16. 多文化共生について

地域に外国人が増えていくことに対する意識

「生活するルールや習慣の違いからトラブルが起きる」が6割近く

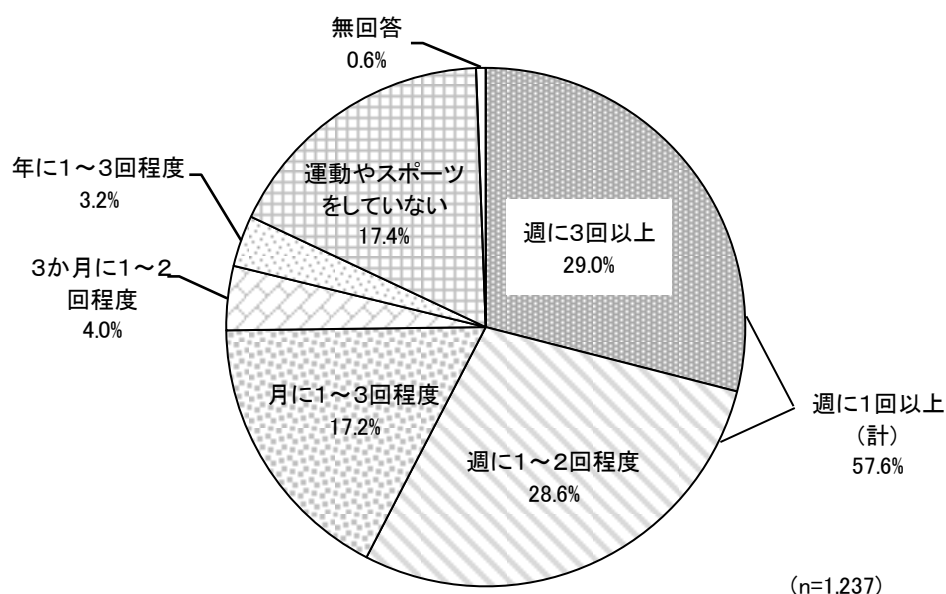
- ◆ 地域に外国人が増えていくことについて聞いたところ、「生活するルールや習慣の違いからトラブルが起きる」57.8%が最も高く、次いで「漠然とした不安がある」39.8%、「治安が悪くなる」39.6%と、ネガティブな項目が上位となっています。



17. 運動・スポーツについて

この1年間の運動やスポーツの実施状況 『週に1回以上(計)』が6割近く

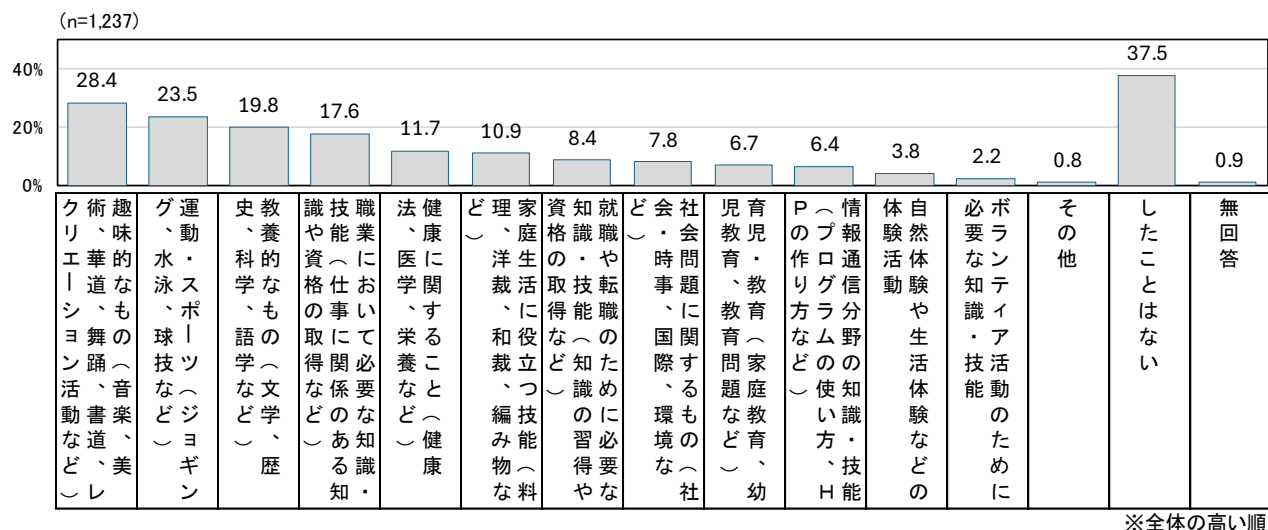
- ◆ この1年間の運動やスポーツの実施状況について聞いたところ、「週に3回以上」29.0%と「週に1～2回程度」28.6%を合わせた『週に1回以上(計)』57.6%は、6割近くとなっています。一方、「運動やスポーツをしていない」は17.4%となっています。



18. 生涯学習について

この1年間の生涯学習の実施状況 「趣味的なもの」が3割近く

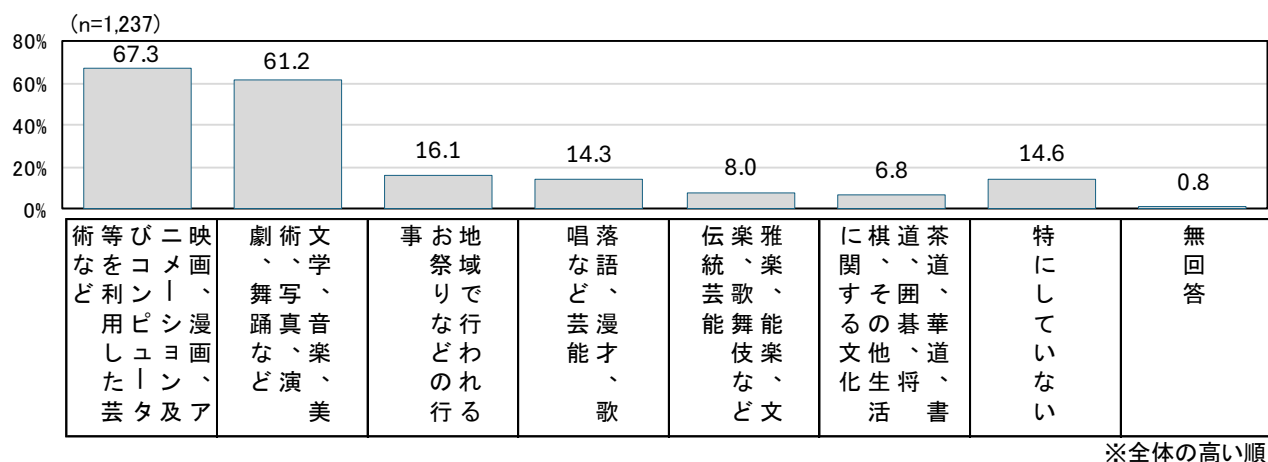
- ◆ この1年間の生涯学習の実施状況について聞いたところ、「したことはない」が37.5%で、何らかの生涯学習をした人は6割を超えています。学習内容では「趣味的なもの」28.4%が最も高く、次いで「運動・スポーツ」23.5%、「教養的なもの」19.8%、「職業において必要な知識・技能」17.6%の順となっています。



文化・芸術鑑賞の有無

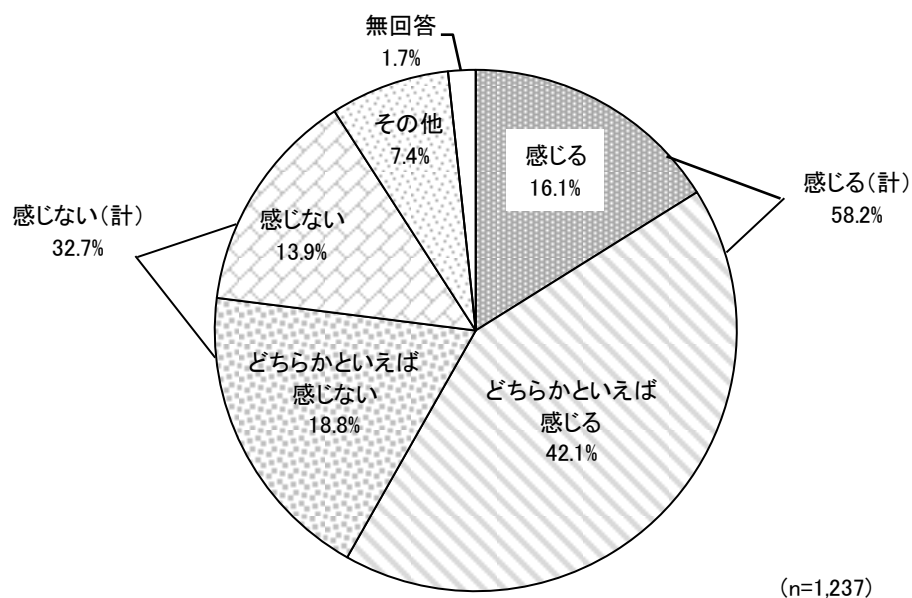
「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」が7割近く

- ◆ 文化・芸術鑑賞の有無について聞いたところ、「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」67.3%が最も高く、次いで「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」が61.2%と、この2項目が突出しています。以下、「地域で行われるお祭りなどの行事」16.1%、「落語、漫才、歌唱など芸能」14.3%となっています。



仕事と生活の調和に対する意識 調和が図られていると『感じる（計）』が6割近く

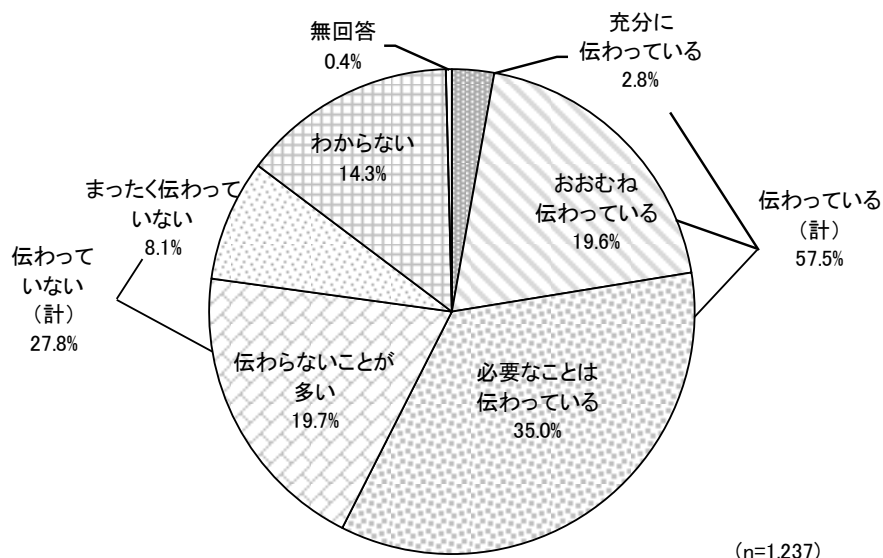
- ◆ 仕事と生活の調和が図られていると感じているか聞いたところ、「感じる」16.1%と「どちらかといえば感じる」42.1%を合わせた『感じる（計）』58.2%は6割近くとなっています。一方、「どちらかといえば感じない」18.8%と「感じない」13.9%を合わせた『感じない（計）』32.7%は3割程度となっています。



19. 区の情報について

区の情報の伝達度 『伝わっている（計）』が6割弱

- ◆ 必要とする区の情報が伝わっているか聞いたところ、「必要なことは伝わっている」35.0%が最も高く、これに「おおむね伝わっている」19.6%と「十分に伝わっている」2.8%を合わせた『伝わっている（計）』57.5%は6割弱となっています。一方、「伝わらないことが多い」19.7%と「まったく伝わっていない」8.1%を合わせた『伝わっていない（計）』27.8%は3割弱にとどまっています。



区の広報媒体等の利用状況

【広報すぎなみ】と【ホームページ】の『利用したことがある（計）』が6割を超える

- ◆ 区の広報媒体等の利用状況について聞いたところ、『利用したことがある（計）』は【広報すぎなみ】65.2%が最も高く、次の【ホームページ】60.5%までが突出しています。以下、【犯罪・防犯情報メール】23.0%、【LINE(杉並区公式LINE)】17.1%、【X(地震・水防等)】16.1%となっています。

		よく利用している	たまに利用している	利用したことがある	利用したことがない	わからない	無回答	%	利用したことがある(計)
(n=1,237)									
①広報すぎなみ		15.4	23.2	26.6	29.2	5.0		0.6	65.2
②ホームページ		2.7	21.4	36.3	32.3	5.1		2.2	60.5
⑩犯罪・防犯情報メール		5.4	4.2	13.4	66.5	8.1		2.3	23.0
⑧LINE(杉並区公式LINE)		5.6	5.9	5.7	73.7	7.0		2.2	17.1
⑥X(地震・水防等)		1.5	4.5	10.1	74.1	7.3		2.5	16.1
③広報番組(J:COMケーブルテレビ)		1.3	2.5	9.8	76.6	7.4		2.3	13.6
⑦X(広報課)イベント情報等	1.1	2.3	5.5	80.4	8.1			2.6	8.9
⑨メールニュース	1.3	1.5	4.3	81.1	9.4			2.4	7.1
④ユーチューブ(杉並区公式チャンネル)	0.3	1.4	4.4	83.7	7.4			2.7	6.1
⑤フェイスブック(広報課)	0.2	1.4		86.9	8.1			2.7	2.3
		0.7							

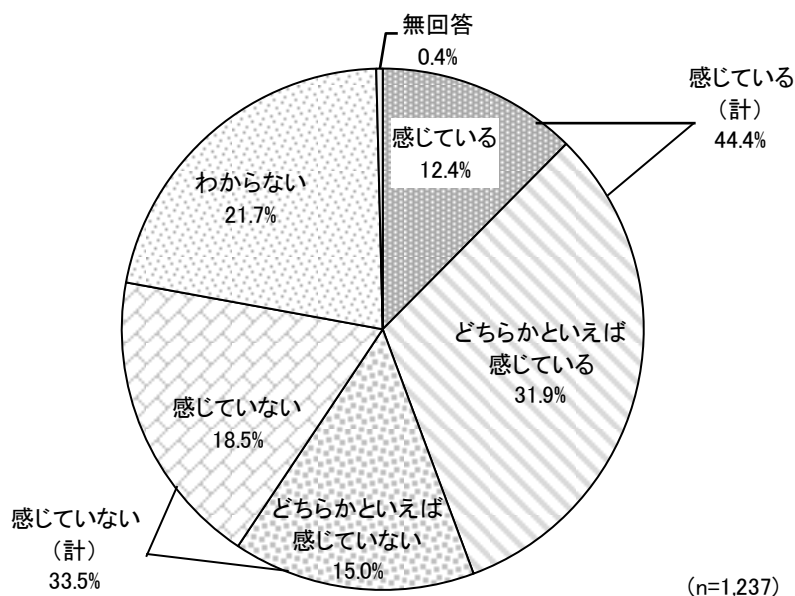
※利用したことがある(計)の高い順

20. 区役所のデジタル化について

区のデジタル化の取組によって生活が便利になったと感じているか

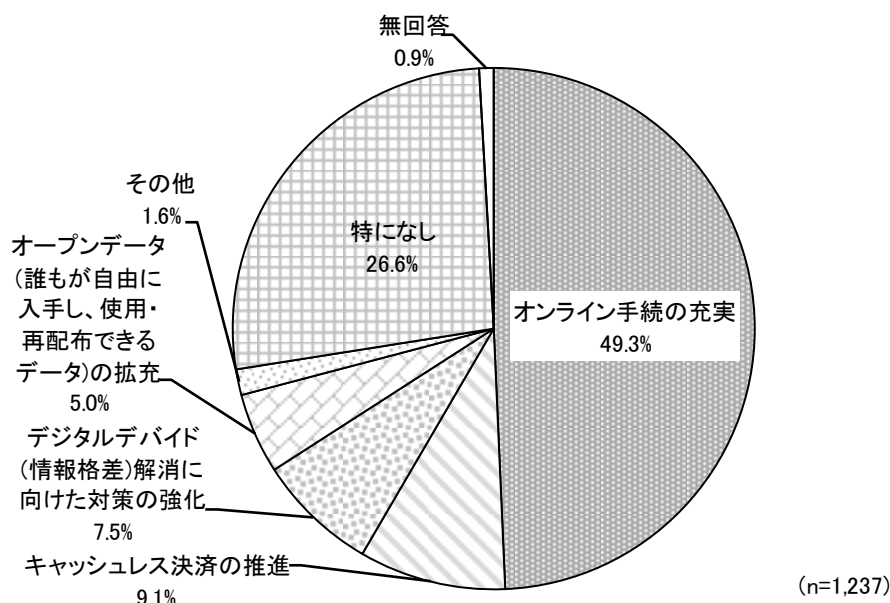
『感じている(計)』が4割を超える

- ◆ 区のデジタル化の取組によって生活が便利になったと感じているか聞いたところ、「感じている」12.4%と「どちらかといえば感じている」31.9%を合わせた『感じている(計)』44.4%は4割を超えています。一方、「どちらかといえば感じていない」15.0%と「感じていない」18.5%を合わせた『感じていない(計)』は33.5%で、『感じている(計)』44.4%の方が高くなっています。



区のデジタル化の取組の中で期待すること 「オンライン手続の充実」がほぼ5割

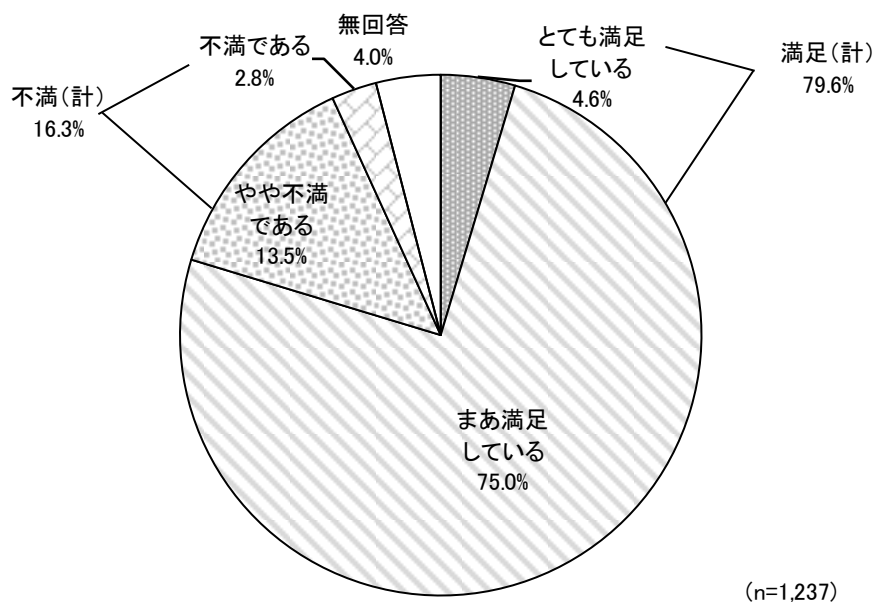
- ◆ 区のデジタル化の取組の中で期待することを聞いたところ、「オンライン手続の充実」49.3%が最も高く、約半数を占めています。次いで「キャッシュレス決済の推進」9.1%、「デジタルデバйд解消に向けた対策の強化」7.5%となっています。



21. その他の区政について

区の事業やサービスの満足度 『満足(計)』がほぼ8割

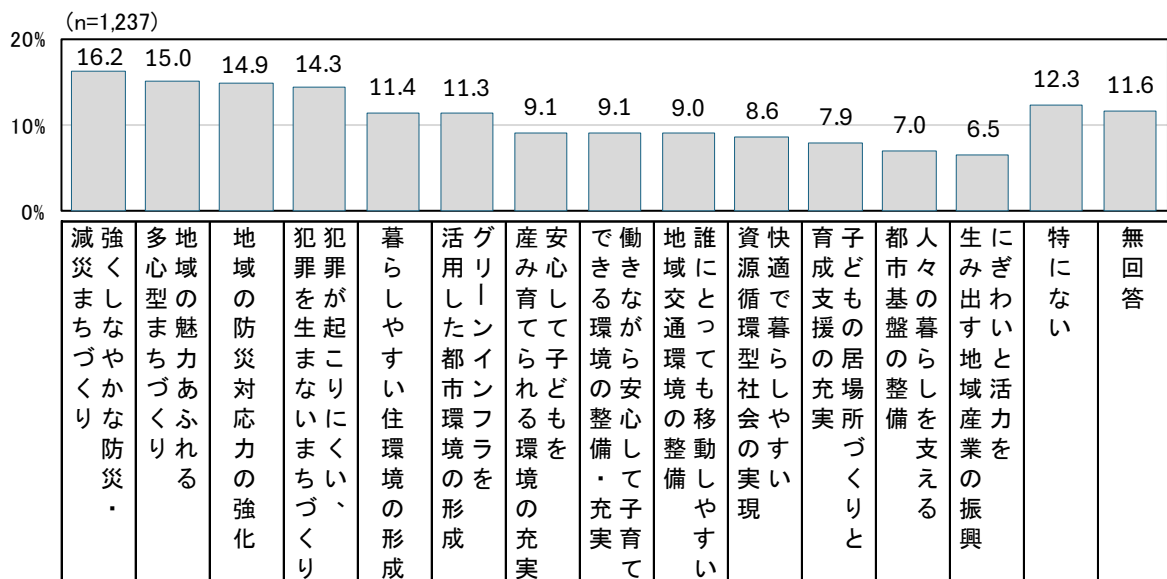
- ◆ 杉並区の事業やサービスの満足度を聞いたところ、「とても満足している」4.6%と「まあ満足している」75.0%を合わせた『満足(計)』79.6%はほぼ8割となっています。一方、「やや不満である」13.5%と「不満である」2.8%を合わせた『不満(計)』16.3%は1割台にとどまっています。



杉並区の施策や取組の評価と要望

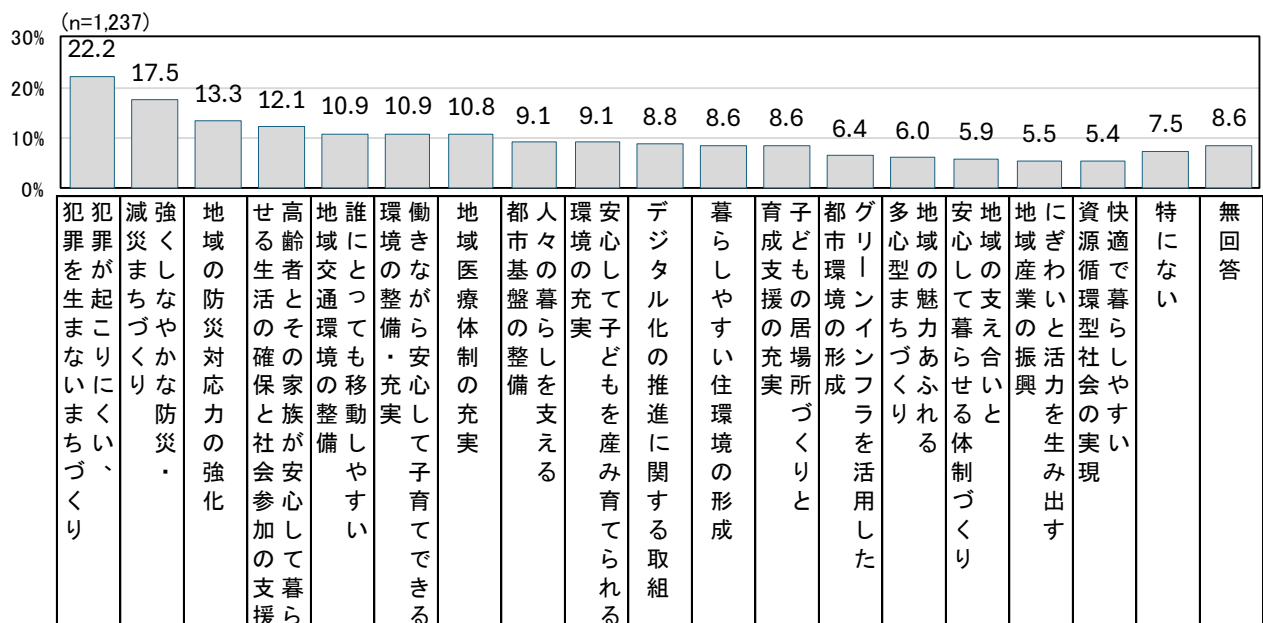
- ・ 施策や取組の評価では、「強くしなやかな防災・減災まちづくり」「地域の魅力あふれる多心型まちづくり」「地域の防災対応力の強化」「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」が1割半ば程度
- ・ 施策や取組の要望では「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」「強くしなやかな防災・減災まちづくり」が2割前後

◆ 杉並区が力を入れていると評価できる施策や取組を聞いたところ、「強くしなやかな防災・減災まちづくり」16.2%が最も高く、次いで「地域の魅力あふれる多心型まちづくり」15.0%、「地域の防災対応力の強化」14.9%、「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」14.3%となっており、上位の項目でも2割に達していません。



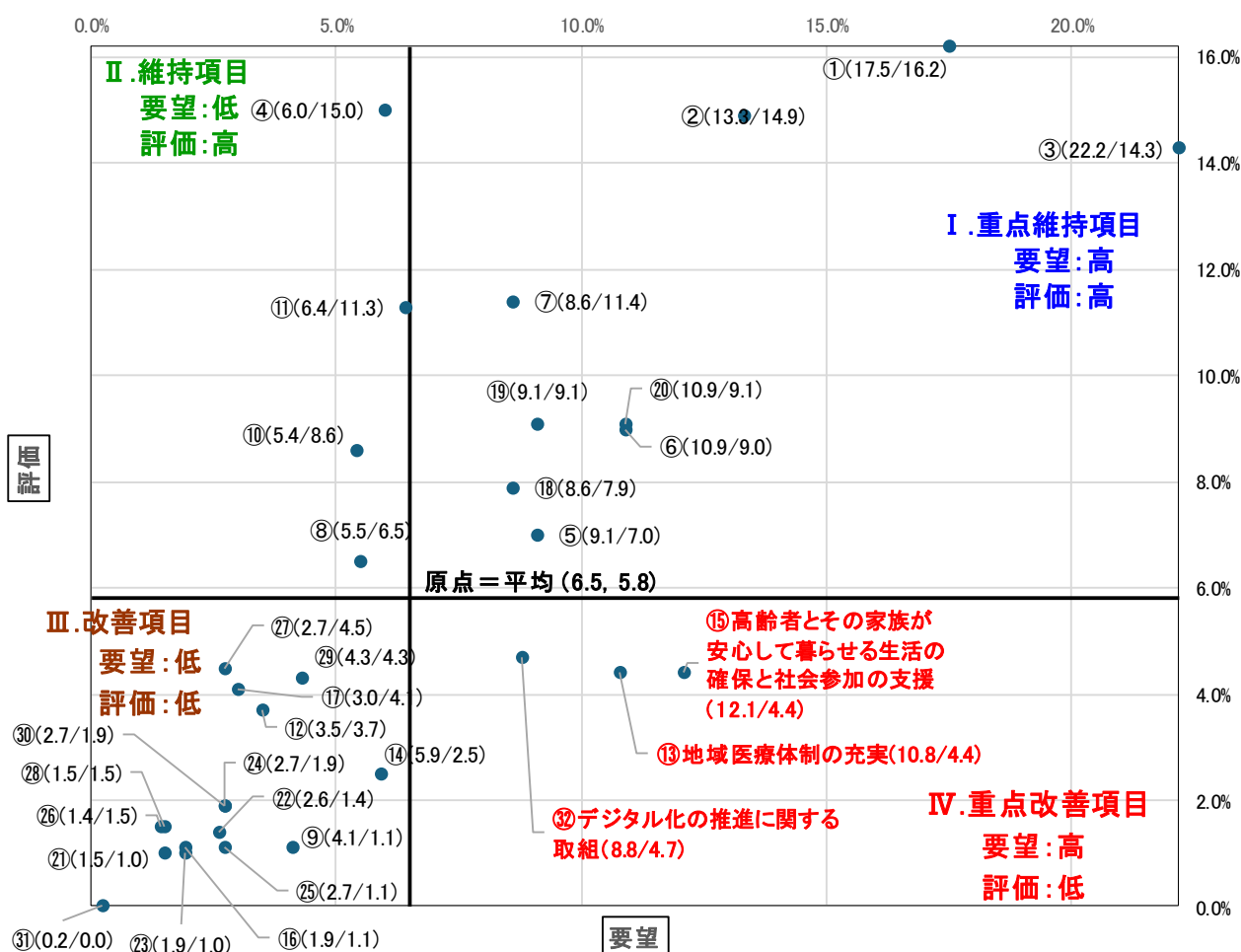
※全体5%以上の項目の高い順

◆ 杉並区が今後特に力を入れるべきだと思う施策や取組を聞いたところ、「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」22.2%が最も高く、次いで「強くしなやかな防災・減災まちづくり」17.5%、「地域の防災対応力の強化」13.3%と防犯・防災関係がTOP3項目となっています。



※全体5%以上の項目の高い順

- ◆ 『今後特に力を入れるべきだと思うもの』と『力を入れていると評価できるもの』を相関させた散布図は以下の通りです。横軸が『要望』で、縦軸が『評価』です。このグラフでは、『要望』が高く、『評価』が低い第Ⅳ象限にある項目が今後の**重点改善項目**となる行政課題と考えられます。



第 58 回 杉並区区民意向調査

令和 8 年 10 月発行



杉並区

編集・発行

杉並区 総務部 区政相談課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1 丁目 15 番 1 号

T E L 03-3312-2111(代)

実施 株式会社アダムスコミュニケーション

東京都杉並区上高井戸 1-8-17 ブライトコアビル新館 6 F